

令和２年度第１回福岡県筑紫区域地域医療構想調整会議に係る書面会議について

- 令和３年２月９日開催の標記会議について、委員定数１７名中、出席者数（書面提出者数）１６名であった。

- 議事１「議長の選出について（協議）」

・異議なし １６名          ・異議あり ０名

（理由）なし

- 議事２「地域医療構想の現状について（報告）」

・意見なし １５名          ・意見あり １名

（意見）地域医療構想の中に於いて「公立・公的医療機関等の具体的対応方針の検証等」の依頼が「１医指第２１３５号」で検証されました。昨年絵１２月に発生した新型コロナウイルス感染、そして我が国にも感染拡大・流行が生じました。新型コロナウイルス感染に対して、治療を担っているのは地域における基幹病院であり（基幹病院は公立・公的医療機関も含まれています）、大変な負担をお願いしている状況です。地域民間医療機関では感染回復後の後方支援として医療は可能ですが、新規患者数、重症患者数を診ても基幹病院のみでは病床確保もできず疲弊状況に近いと考えます。感染症は一時的なものかもしれませんが、しかし新型コロナウイルスが収束するもの今後数年はかかると考えます。第２種感染症指定医療機関を数床確保されている機関もありますが、９領域又は６領域のみでなく、感染症に対する機能を有する基幹病院数、病床数等の検討も必要ではないでしょうか。

- 議事３「病床機能分化連携推進部会の設置及び運営に関する要領の改正について（報告）」

・意見なし １５名          ・意見あり １名

（意見）・部会の設置に関しての意見はありません。但し病院に於いて、機能の変更等で病棟単位での変更ではなく、病床単位での変更は可能でしょうか。例えば１フロアで２つの種類の機能を併せ持つ病床は可能なのでしょうか。以前は浴場、看護ステーションも別個だったと記憶しています。また複数階で１病棟のみなすことは可能なのでしょうか。意見が様々で混乱を招いています。機能変更のハードルも緩和が必要ではないでしょうか。「外来医療計画」では、筑紫地区は人口に対しての医療機関を開設することが可能な地域です。現在多くの診療所の開設が出てきています。開設も既に決定した状況や開設されて部会に報告されているケースが多々あります。また開設場所の周囲に専門性が同様な医療機関存在するにもかかわらず、様々なコンサルタントを通じ開設されている状況です。開設を拒否することはできません。開設が決定する前に、部会に報告することを周知徹底していただけることはできないでしょうか。

・部会での結論だけでなく話し合われた内容は調整会議で報告され了承を得る必要があると考える。

- 議事４「病床機能等の変更に関する報告書等の様式の改正について（報告）」

・意見なし １６名          ・意見あり ０名

（意見）なし

- 議事 5 「病床機能再編支援補助金における病床削減に係る意見聴取について（協議）」

【非公開】

上記の会議について、表決状況を確認しました。

令和 3 年      月      日

福岡県筑紫区域地域医療構想調整会議 委員

（団体・医療機関名）

---

（役職・氏名）

---